

広報たかなべ

2014. 1. 24 NO. 386

- 
- 新年のごあいさつ
• 高鍋農業高等学校 創立110周年
• 高鍋高等学校ラグビー部 3年連続全国大会出場！
• 特集 プールで楽しく健康づくり
• 平成26年 高鍋町成人式
• 地域の政治・経済・文化・教育の振興に尽くした偉人 柿原政一郎
• 事務事業評価・外部評価を行いました
• ご存知ですか？あなたの地区の民生委員・児童委員
• 温泉につかって ほっとしませんか？
• 高鍋町消防団の皆さん、いつもありがとう
• まちの話題
• わが町の宝物

1月2日 高鍋大師「たかなべ大使くん、私を日の出に連れてって」



新年のごあいさつ

高鍋町長 小澤 浩一



新年明けましておめでとう
ございます。町民の皆様にお
かれましては、希望に満ちた
輝かしい新春をお迎えのこと
と、心からお慶び申し上げます。
また、町政の推進に当た
りましては、日ごろから、温
かいご理解とご協力を賜り、
厚くお礼を申し上げます。
さて、未曾有の被害を及ぼ

した口蹄疫から早三年の月日
が流れ、昨年、町内において
殺処分された約三万四千頭に
及ぶ家畜の埋却地の発掘禁止
期間が満了し、農地に戻す再
生整備が始まりました。
真の意味での復興、再生に
向けて、また、新たな気持ち
でスタートをきったところで
ありますが、この間、直接的、
間接的に被害を受けた皆
様が、復興に向けた取り組み
を進められ、努力をされてき

たことに對しまして心から敬
意を表し、感謝申し上げます。
第でございます。
また、昨年二月には、農業、
商業、工業など各産業間の垣
根を越えて、お互いが有する
経営資源を持ち寄り、地域経
済の持続的な発展を図ること
を目的として、児湯農業協同
組合、高鍋商工会議所などに
よる「産業間の農商工連携及
び協力に関する協定書」が締
結されました。

これから、イベントの連携
やオリジナルグルメ、お土産
などの開発をはじめ、活力あ
る人材の育成交流など、まち
の更なる活性化に寄与してい
ただけるものと期待している
ところであります。
本町の地域経済は、アベノ
ミクス効果もさほど感じられ
ない中、長引く景気低迷など
により、非常に厳しい状況と
なっておりますが、このよう
な明るい話題を糧とし、当町
といたしまして「高鍋町総
合計画第五次基本構想」に基
づき、住民参画による快適で
美しいまち「たかなべ」、子
どもがにぎわうまちづくりを

将来像として描きながら、これ
からもさまざまな政策課題に全
力で取り組んでまいります。
社会経済情勢の急激な変化に
対応し、施策を推進するため
には、町民の皆様と行政とが一体
となり、創意工夫をしながら取
り組まなければなりません。
どうか皆様方におかれまして
も、変わらぬご支援、ご協力を
賜りますようお願い申し上げま
す。
年頭に当たり、本年が皆様に
とりまして、実り多き良い年と
なりますことを衷心からご祈念
申し上げます、新年のごあいさつと
させていただきます。



新年のごあいさつ

高鍋町議会議長 山本 隆俊



同厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、国政
においては七月の参議院選挙に
おいて自民党が勝利し、衆参の
ねじれ国会は解消いたしました。
日本経済の長引くデフレ脱却
のために三本の矢を柱とする経
済政策「アベノミクス」により
株価の高騰、円安による輸出産
業の業績改善により経済は回復
基調にあります。また、まだ地
方では景気回復を実感するまで

には至っておりません。

災害では、地球温暖化によ
り、台風・竜巻・土石流などの
大きな被害が発生し、尊い多く
の命が失われましたが、本町で
は、大きな災害もなく幸いでし
た。

二月には町長選挙が行われ、
町政継続の審判が下り、小澤町
長の三期目がスタートしていま
す。

「口蹄疫からの復興事業」
「防災事業」「環境改善事業」

などさまざまな重要問題を進め
た一年であつたと考えておりま
す。

「地域主権戦略大綱」が閣議
決定されて以降、国から都道府
県、都道府県から市町村への権
限移譲や法律で規制されていた
条項の条例委任など地方分権改
革は着実に進められています。
自らの事は自らの意志で決定
し、その財源・権限や責任も自
ら持たなければなりません。

申すまでもなく議員の使命
は、具体的な政策の最終決定と
執行機関の行う業務を監視する
ことでもあります。私たち議会と
いたしましては、町民の代表と
して、その責務と役割を深く自

覚し、新しい時代にふさわしい
「まちづくり」に取り組み、議
員としての更なる倫理観を向上
させ、常に研鑽を重ねてまいり
ます。皆様の忌憚のない声を議
会にお届けください。

今年の秋には議員の任期満了
を迎えます。町の将来に向かっ
て、議会人として任期満了日ま
で精一杯努めてまいりますの
で、ご理解を頂き、皆様方の力
強いご支援、ご協力を賜ります
よう、心からお願ひ申し上げます
とともに、皆様方のご健勝と
ご繁栄を心よりお祈り申し上げ、
新年のごあいさつといたしま
す。

新年明けましておめでとうご
さいます。平成二十六年の年頭
にあたり、議会を代表して謹ん
で新年のごあいさつを申し上げ
ます。
町民の皆様には、新たな抱負
を胸に新年をお迎えのこととお
慶び申し上げます。また、日ご
ろから議員活動に対する暖かい
ご理解とご協力を賜り、議員一

自分が造った焼酎を 全国の人に届けたい



食品化学科（高鍋西中学校出身）
白石 蓮 さん

幼いころから料理が好きで、興味があることを伸ばせるところで学びたいと思い、食品化学科に進学しました。

高校で、食品の成分や製造方法、衛生管理などについて学んでいるうちに、食品の製造に関する仕事に就きたいと思うようになりました。

高校卒業後は、黒木本店に就職します。黒木本店で働きながら焼酎に関する技術を学び、いつかは自分が造った焼酎を全国の人に飲んで欲しいと思っています。

また、地元就職するので、地域の活動にも積極的に参加し、生まれ育った高鍋町に貢献したいと思っています。

地球温暖化に適応できる 栽培技術の確立に取り組みたい



園芸科（高鍋東中学校出身）
永谷 祐希 さん

幼いころから植物を育てることに興味があり、その知識や技術を身につけたいと思い、園芸科に進学しました。

高校で野菜や草花、果樹に関する栽培技術などを学んでいるうちに、風土や気候にあった果樹や植物を作る「品種改良」について、専門的に学びたいと思い始めました。

4月からは、宮崎大学農学部に進学し、高校で学んだことを基礎に、さらに勉強や研究に励みたいと考えています。

将来は、県総合農業試験場で、地球温暖化に適応できる栽培技術の確立に取り組みたいと思います。



高鍋農業高等学校

創立一一〇周年

明治三十六年、高鍋藩校「明倫堂」跡地に創立し、一一〇周年を迎えた歴史と伝統を持つ高鍋農業高校。

昨年十一月には、創立記念式典が行われ、これまでの歴史を振り返るとともに、さらに魅力溢れる学校として志新たに出發しました。この記念すべき区切りの年に高鍋農業高校を卒業し、輝かしい未来へ旅立つ二人の生徒にインタビューを行いました。

小学生のころからラグビーが好きで、高校に入っても続けたいと思い高鍋高校に進学しました。

中学生のころとは比較にならないほどの練習量の多さに、最初は勉強と部活の両立が難しい時もありましたが、日々の練習の積み重ねと、一緒にプレーする仲間のおかげで、よりラグビーが好きになりました。

これからも生まれ育った高鍋で学んだ「礼儀」と学校や部活を通じて築いた「仲間」を大切に、人生に活かしていきたいと思っています。



普通科（高鍋西中学校出身）
稲井 賢太郎 さん

小学生の時にラグビーを始めてから、もっと技術を向上させたいと思い、高鍋高校に進学しました。

中学生のころにはできていたラグビーのプレーも、高校に入るとレベルが上がり、思うようにいかず悩んだ時期もありました。しかし、地域の方からのラグビーに対する協力や「頑張れ!」という声掛けが、とてもうれしく、やる気につながりました。

地域と学校、そして部活から学んだ「感謝の気持ち」をこれからも忘れず、前を見て頑張っていきたいと思っています。



普通科（高鍋西中学校出身）
矢野 太陽 さん

第九十三回全国高校ラグビー大会県予選で、三年連続二十一度目の優勝を果たし、全国大会出場の手配が完了した。高鍋高校ラグビー部。

昨年の二回戦進出を上回ることを目標に、南北海道代表の札幌山の手高校に挑みましたが、前半リードを奪われ、後半に入り甲斐祐次選手がトライを決め、同点。しかし、その後二トライを奪われ、5-15で敗れました。惜しくも二回戦に進出することはできませんでした。

また、主要メンバーの三年生は、三年間全国の舞台を踏むという貴重な経験をしました。そんな選手の中から、高鍋町出身の二人に、高鍋町で、そしてラグビーで学んだことを聞きました。



花園ラグビー場で開催された全国大会に出場した高鍋高校ラグビー部の皆さん

高鍋高等学校ラグビー部 三年連続全国大会出場!

特集 プールで楽しく健康づくり

健康づくりセンターに併設されている温水プールは、健康増進を目的に、年間を通じて町内だけでなく、町外からも多くの方に利用されています。今回は、プールを使った健康づくりを紹介します。

プールの利用状況

県内で唯一保健センターに併設されている健康づくりセンターの温水プールは、開設された平成十六年度から一年間の利用者延数は年々増加しています。平成二十四年度には延べ三万人ほどの方が利用し、子どもから高齢者の方まで、それぞれに合った健康づくりの場として、広く活用されています。

水中運動の効果

水中運動には、浮力・水圧・抵抗・水温などにより、陸上とは違う、うれしい効果がたくさんあります。

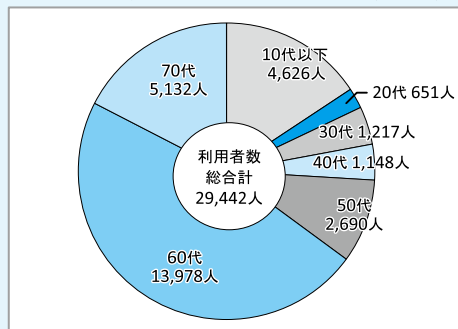
腰痛・関節痛などのため、陸上での動きに支障がある方も、浮力により体への負担が軽くなることから、楽に運動をすることが出来ます。

また、腹部に水圧がかかると自然に腹式呼吸が行われることから、心肺機能も強化され、呼吸器疾患などの方にも効果的です。

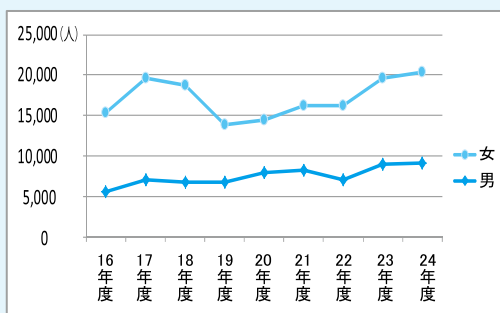
水中運動普及員の川越敬子さんは「水中運動は、体の健康効果だけでなく、たくさんの方とおしゃべりすることで、心も元気になります。一緒に水中運動を楽しみませんか」と話してくれました。

また、プールではさまざまな教室が行われており、一人でも楽しく水中運動に取り組むことができます。

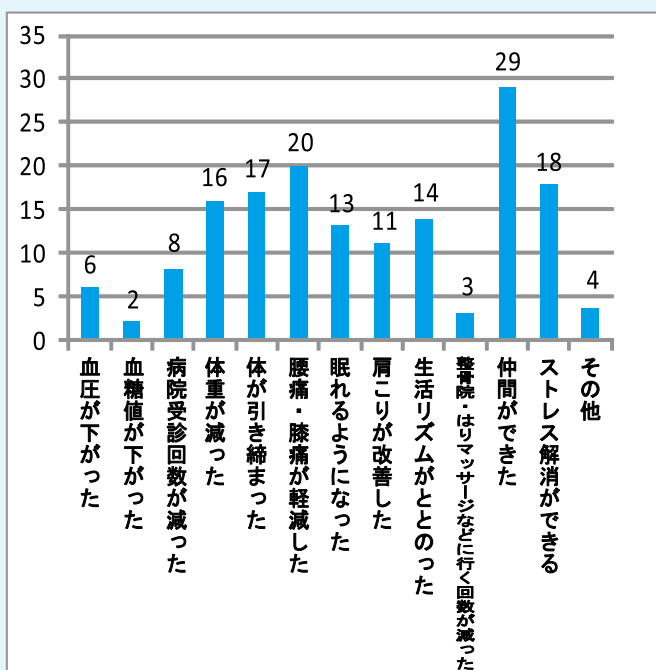
平成24年度年代別プール利用者数(延数)



男女別プール利用者数(延数)



Q プールを利用するようになって、何らかの変化がありましたか？
H24年度アンケート(回答者48人 複数回答有)





【アクア教室】

教室名	日 時	定員	内 容
さわやか体操	毎週木曜日 10:20～11:00	20名	ウォーキングを中心に楽しくゲームを行います。
リフレッシュアクア	毎週土曜日 19:15～19:45	20名	水の抵抗を利用して全身運動を行います。
えんじょいアクア	毎週金曜日 15:00～15:35	20名	音楽に合わせて水中アクアビクスを行います。

【水泳教室】

教室名	日 時	定員	内 容
モーニングスイム	毎週水曜日 10:15～10:45	10名	水慣れ・クロールの基礎を指導します。
	毎週水曜日 10:55～11:25	10名	クロール50m泳げる方へ泳法アップの指導をします。
ナイトスイム	毎週火曜日 19:15～19:45	15名	水慣れの基本から指導します。

【フロア教室】

教室名	日 時	定員	内 容
楽々エクササイズ	毎週火曜日 10:20～11:00	15名	ボールなどを使ってプールではできない楽しい教室をします。

The Interview



押川 千枝子さん

3年ほど前に大腿骨を骨折し、痛みのため、体が思うように動かず、家からもあまり出なくなっていました。

保健師さんに何か良い運動はないかと相談したところ、プールを勧められ、チャレンジしてみることにしました。

プールに入ると、体がとても軽く、無理なく足を動かすことができる上不思議と心がリラックスして、気持ちがすっきりします。今では、町内に年間を通じて利用できるプールがあることにとても感謝しています。

これからも体と心の健康づくりのために、プールを利用していきたいと思います。



小村 喜一郎さん

プールには、一人で自由に泳ぎに行くだけでなく、毎週行われている教室にも通っています。

教室では、毎回新しい課題が出されるため、やりがいがあって楽しく取り組んでいます。そして、教室に通うみんなと一緒にトレーニングをしたり、笑ったり、話しをすることもとても楽しみです。

プールは無理なく体力づくりができるだけでなく、楽しく運動しながら友達づくりもできます。

これからも健康づくりのために、そして仲間と楽しい時間を過ごすためにも水中運動を続けたいと思います。

プールで楽しく健康づくりに取り組まれている二人に話を聞きました♪

プール利用案内

開閉館時間：火～土曜日 午前10時～午後9時

日・祝日 午前10時～午後5時

※小中学生のみの利用は、午後5時までです。

休 館 日：毎週月曜日（月曜日が祝日にあたる場合はその翌日）

年末年始（12月29日～1月3日）

その他、設備点検等による臨時休館

利 用 料 金：・1回券 大人400円、中・高生 300円、幼児・小学生 200円

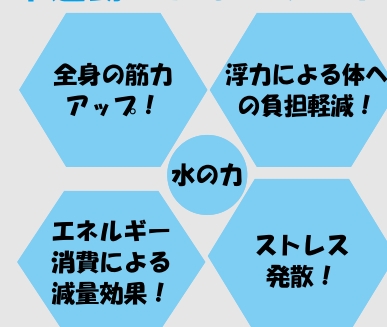
・回数券（11回分）4,000円

・フリーパス券（18歳以上の方のみ 高校生不可）

町内 1ヵ月 3,000円 6ヵ月 15,000円

町外 1ヵ月 4,000円 6ヵ月 20,000円

水中運動によるメリット！



★水の抵抗は体の動きに一樣にかかるため、バランスよく筋肉を強化することができます。

★浮力により、体重は陸上にいるときの10分の1となるため、腰・膝・股関節などの負担が軽くなり、無理なく運動することができます。

★プールの水温は約30度と体温より低いいため、体は体温を上げようと熱を発生させます。その時にエネルギーが消費されます。（減量効果）

★全身に水圧が加わり、皮膚へのマッサージ効果が生じるため、全身の血液循環が良くなります。また、水に触れることでリラクゼーション効果生まれ、ストレス発散につながります。

【取材を終えて】
今回、取材のためにプールの利用者の方とお話する機会が多くありました。運動している効果なのか、どの方もはつらつとしていて、笑顔がとても素敵で、「プールは楽しい！」という声をたくさん聞きました。
今回の特集の写真を撮る際に「えんじょいアクア教室」にお邪魔したので、プールサイドで見ていると、皆さんとてもハードな運動をしているにも関わらず、大きな声で笑いながら、楽しく運動をしている様子が伝わりました。
「水は苦手」と感じている皆さん、今年は水中運動で健康づくりを始めてみませんか？